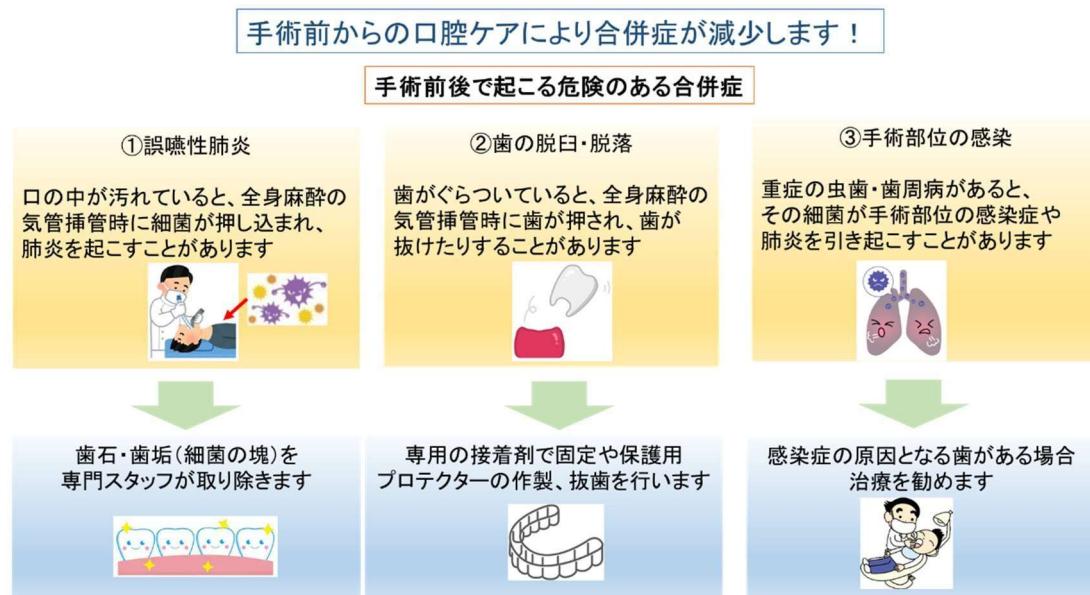
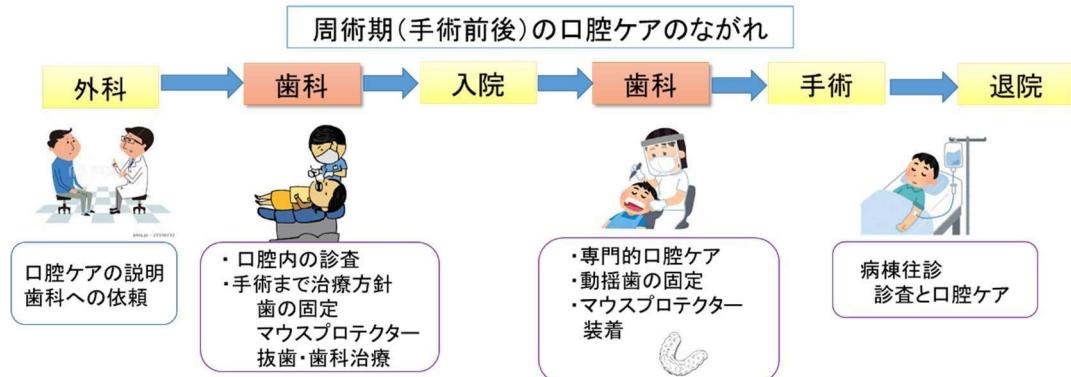


【活動目的・内容】

全身麻酔下で手術を受ける患者さんの口腔内を術前から術後まで管理することで、口腔内細菌による合併症や、誤嚥性肺炎や術後の摂食障害、手術した傷口の感染、気管挿管中におこる歯の脱落を予防します（下図参照）。



***気管挿管**：お口から気管支の中まで、人工呼吸のための管を入れる



【活動職種】

外科系医師、麻酔科医師、看護師、歯科医師、歯科衛生士、事務職員

【対象となる患者さん】

- 頭頸部、呼吸器、消化器領域等の悪性腫瘍の手術予定患者
- 人工股関節置換術等の整形外科手術予定患者
- 脳卒中の術後患者
- その他外科主治医が、術前に歯科受診が必要と判断した患者



【活動チームから一言】



手術までに口腔環境を整えて、安心して手術日を迎えていただき、術後も食事摂取が円滑に行えるお手伝いができるようチームで取り組んでいきたいと思います。